



2016年5月18日

各位

会社名 アステラス製薬株式会社
代表者 代表取締役社長 CEO 畑中 好彦
コード番号 4503
(URL <http://www.astellas.com/jp>)
東証 (第一部)
決算期 3月
問い合わせ先 広報部長 臼井 政明
Tel: (03)3244-3201

がん領域におけるパイプラインのアップデート

アステラス製薬株式会社(本社:東京、以下「アステラス製薬」)は本日、2017年米国臨床腫瘍学会(ASCO)年次総会において、当社が応募した様々な種類のがんに関する複数の抄録が受理されたこと、及び乳がん患者を対象としたエンザルタミドの開発状況についてお知らせします。

アステラス製薬は、シカゴで6月2日から6日まで開催される2017年ASCO年次総会において急性骨髄性白血病を対象としたギルテリチニブ、尿路上皮がんを対象としたenfortumab vedotin、そして最近のガニメド ファーマシューティカルズ社買収により獲得したIMAB362に関するデータなど、多くの演題を発表する予定です。また、去勢抵抗性前立腺がん及びその他の前立腺がん患者を対象としたエンザルタミドの広範囲の臨床試験に関する複数の発表も行う予定です。

また、トリプルネガティブ乳がん患者を対象として準備を進めていたエンザルタミドの第III相ENDEAR試験の中止を、共同開発を進めているPfizer Inc.(本社:米国ニューヨーク州、以下「Pfizer社」と決定しました。同試験は、バイオマーカー陽性の進行性トリプルネガティブ乳がん患者を対象として、パクリタキセルとエンザルタミドの併用療法、及びエンザルタミドの単剤療法の有効性と安全性を、プラセボとパクリタキセルとの併用と比較して評価する国際共同無作為化第III相試験であり、これまで本試験に組み入れられた患者さんはいません。また、アステラス製薬とPfizer社は、エストロゲン受容体(ER)／プロゲステロン受容体(PR)陽性乳がん患者を対象とした第II相試験及びヒト上皮成長因子受容体(HER2)陽性乳がん患者を対象とした第II相試験の結果を踏まえ、それぞれの患者層において、第III相試験に進まないことを決定しました。

アステラス製薬は、引き続きイノベーションを患者さんの価値に変え、グローバルでがん治療へ貢献していきます。

以上

注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラスの業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。